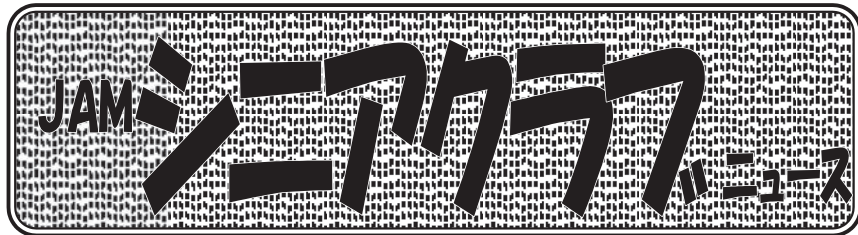


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第122号

発行日 2017年10月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

主張



の続きと推敲。
4時には新聞が
来るので全国紙
と地方紙に目を
通す。金魚とメ

そして朝風呂朝シャンである。
最初から脱線だ。昨今の事情を思う
に石頭は死ななごや治らない。安倍の
坊ちゃまとはDNAが違う。国体の考
え方が基本的に異なる。民の幸せとは、
なつて、老骨病体に鞭打つ日々である。
合わせて断捨離と終活は順調に進み、
日本尊厳死協会へも登録した。遺体は
三重大学へ献体することになっている。

2時には起きる。メールとニュースのチェック。起草中の原稿
は夜も早い目覚めも早い。
人生を楽しんでいる。年寄り
今では週3回の通院。第3の
活を送ったが、古希を過ぎた
定年後は手帳を持たない生
表面も見てきたように思う。
突っ込み、19歳で専従となっ
た。組合活動や政治活動の裏
思い起こせば17歳でこの渡世に首を
突っ込み、19歳で専従となっ
た。組合活動や政治活動の裏
表面も見てきたように思う。

第三の人生を 楽しんでる毎日

三重シニア前事務局長 樋口 貴教

は下がつてきている。
産業構造、雇用構造
の変化と言つてしま
えば、それまでであ
る。
身障者一級の身で
あり、杖が離せない。
でも「戦争をさせな
い三重県千人委員会」
の地域呼びかけ人と
なつて、老骨病体に鞭打つ日々である。
合わせて断捨離と終活は順調に進み、
日本尊厳死協会へも登録した。遺体は
三重大学へ献体することになっている。

全国高齢者集会 政治の流れをかえるため 総選挙闘争を勝ち抜こう

集会参加者2000人が 秋空に怒りの声をあげデモ行進

退職者連合は、9月14日13時から「2017全国高齢者集会」を東京・文京シビックホールで開催した。集会には退職者連合の会員約2000人が参加。「安倍政権の無法政治をやめさせる絶好の機会が到来、政治の流れを変えるために連合をはじめとする幅広い勢力と力を合わせ、衆議院選挙を勝ち抜こう」とのアピールを採択し、意思統一をはかった。集会後には白山通りを西神田公園までデモ行進して「生き生きと安心して暮らせる社会をつくらう」と訴えた。

集会では主催者を代
表してあいさつに立つ
夫会長は、衆議院の解
えながら「安倍政権の
散総選挙の動きをふま



方向違いの政策運営や
問答無用の国会運営を

やめさせ、政治の流れ
を変えなければならな
い」ことを強調し、行
動する退職者連合とし
ての行動を呼びかけた。
来賓では、連合の神
津里季生会長が、メデ
アで取り上げられてい
る働き方改革に伴う長
時間労働の是正に関わ
る労働基準法の改正案
についてふれ、「上限
規制を入れる主旨の内
容を法律に盛り込めば
よいわけで、いろいろな
ものまで盛り込む必要
はない」との連合とし
ての考え方について語
った。その後、民進党大
島敦幹事長、社民党吉
田忠智党首、中央労福
協花井事務局長、労金
協会吉田正和副理事長、
全労済濱田毅司常務執
行役員が各々の立場で
連帯と激励のあいさつ
をした。
今年の全国高齢者集
会は会員のふれあいの
時間を設けたことで、
第1部はこれまで通り
の式典として開催、第
2部を会員交流の場と
したのが特徴だ。
今年には岡山県退職者
連合所属する3人の女
性会員が↓(裏面へ)



大阪 第17回定期総会 今年1年の課題を確認

地協OB会の結成など
田井中 藤男 事務局長

JAM大阪シニアクラブは、9月9日(土)午後3時から、JAM西日本会館6階ホールで、会員、役員、来賓、現役書記局を含め64名の参加で第17回定期総会を開催した。

総会では、山田通広氏(元若山精密)を議長に選任し、森本代表幹事の主催者あいさつの後、来賓として出席された、本部シニアクラブ大山会長、大阪退職者連合有元会長、現役組織より中井書記長、組織内議員団代表の中武貞勝枚方市会議員、民進党大阪府連から代表の平野博文衆議院議員からあいさつを受け、議長からは総会に寄せられた「田中ひさや」JAM参議院予定候補者のメッセージが披露された。

総会では、今後1年間の課題として、

①既に結成済みの市内南・市内北・堺阪南地協OB会に続いて、現役組織の理解を得て、大阪府下6地協総会に地協OB会を結成することを確認した。また、②平和を守る運動について、戦後生まれの世代が人口の8割を占



次期役員体制については現役員が全員留任することを確認した。総会終了後には、参加者全員で記念写真を撮り、現役の書記局11人も参加して、和やかなうちに交流会は進められ、総会が成功裏に終了した。

め、未来に再び過ちをおこさないため、世代を超えた平和運動を進めること。③社会保障制度の改悪阻止にむけて、退職者連合、大退連とともに政策制度、地方自治体への要請行動を強めることを確認した。

④年5回の幹事会の開催、年2回の機関誌発行を通じた日常運営や情報発信の強化。

⑤JAMシニアクラブ、京都退連との積極的な連携と行事参加。さらにこれら具体的活動を裏付ける168万円余りを計上した一般会計予算を全会一致で承認し総会を終えた。

養護老人ホームへの訪問活動で披露している「剣詩舞」を帯剣に袴姿もりのりしく、舞台上で熱演し会場から万雷の拍手を受けた。

また、地域からの報告では、岩手県退職者連合の菅崎会長と熊本県退職者連合の米岡会長から、各々東日本大震災、熊本地震の被災地における厳しい現状と継続的な支援の必要性が訴えられた。北海道退職者連合の富山会

長からは5年前から取り組んでいる核兵器廃絶を訴える高校生平和大使派遣のための1万人署名やカンパ活動の報告があった。

さらに、内閣府の「平成29年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」事業での表彰が行われた。

今年、エイジレス・ライフ実践事例で小林須磨子さん、社会参加活動事例で札幌市退職

教員協議会の合唱サークル・睦が受賞し、人見会長から賞状と盾が手渡された。

集会終了後、集会参加者2000人が会場のシビックホールから東京ドームを横目に白山通りを西神田公園まで横断幕を先頭にしてタンバリンを手にデモ行進した。大山会長はじめJAMシニアクラブのメンバー



29人は、第4グループの仲間と元気に安倍政権への怒りの声をあげて行進した。

京都 第17回定期総会を開催 新年度活動方針・予算確認

政策制度・組織拡大・会員交流など
伊藤 忠男通信員

2017年9月8日(金)10時30分から京都駅前ホテルで今年度の総会(第17回)を開催した。役員16名、代議員36人、本部大山会長をはじめとする来賓3人にも出席いただき、2017年度経過

報告、決算報告を確認、新年度の活動方針、予算の審議を行った。

まず、JAMシニアクラブの理念、目的、活動方針をもとに、京都退職者連合や現役のJAM京滋と連携し、

①暴走安倍内閣の強権政治のもとに進められる社会保障の切り捨て、労働法制改悪、憲法改悪を阻止するため取組を展開する。

②現役の各組合に退職者組織の結集の意義と現在のシニアクラブ

の活動を知ってもらうためのオルグや、JAM京滋京都府連絡会三役との組織懇談会の実施を通じ現役組合員に対し退職者組織の結成や既存組織への加入をうながしていく。

③会員交流行事として定着した秋の囲碁・将棋・麻雀大会、春のグラウンドゴルフ大会を今年も健康寿命の維持・向上を目的に計画し参加を呼び掛ける。

④年5回の幹事会の開催、年2回の機関誌発行を通じた日常運営や情報発信の強化。

⑤JAMシニアクラブ、京都退連との積極的な連携と行事参加。

引続き来賓の本部大山会長にも出席をいただき、昼食を楽しみながら懇親会を開催、出席代議員の意見交換・懇親を行い、午後2時過ぎ解散した。